

平成13年 4月 9日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

原田学長の実験公開について

このことについて、下記のとおり行いますのでお知らせします。

記

日時 平成13年4月11日(水)11:00～

場所 広島大学医学部附属動物実験施設(別図参照)

広島市南区霞一丁目2番3号

内容 伝書鳩の壺囊神経切断手術実験

『鳥、魚の帰巢性の秘密を探る』と題し、“耳石器 Lagenae がナビゲーターか”ということについて、去る3月15日に記者発表を行い、その席で今後壺囊神経切断を行った鳩の帰巢実験を行うと公表していたところである。

その後、公開実験に先立ち予備実験として去る4月7日(土)午後、神経切断を行った伝書鳩(3羽)と微弱磁性物質を壺囊に貼付した伝書鳩(3羽)が帰巢出来るかどうかの実験を、三戸歯科(広島市安芸区中野)の三戸應則先生(広島平和競翔連合会会長)の協力を得て、その立ち合いのもとに行った。

その結果、全ての鳩が帰巢することが出来ず、原田学長の説が実証されたことになり、改めて5月の連休明けに、公開で帰巢実験を行う予定とした。

そこで、それに先立ち、今回その公開実験に使用する伝書鳩の神経切断手術を行う現場を、公開するものである。

なお、当日参加を希望される場合は、準備の都合もあるので、事前に次の問い合わせ先まで連絡をいただきたい。

【お問い合わせ先】

広島大学大学情報主査 戸澤

TEL:(0824)24-6013

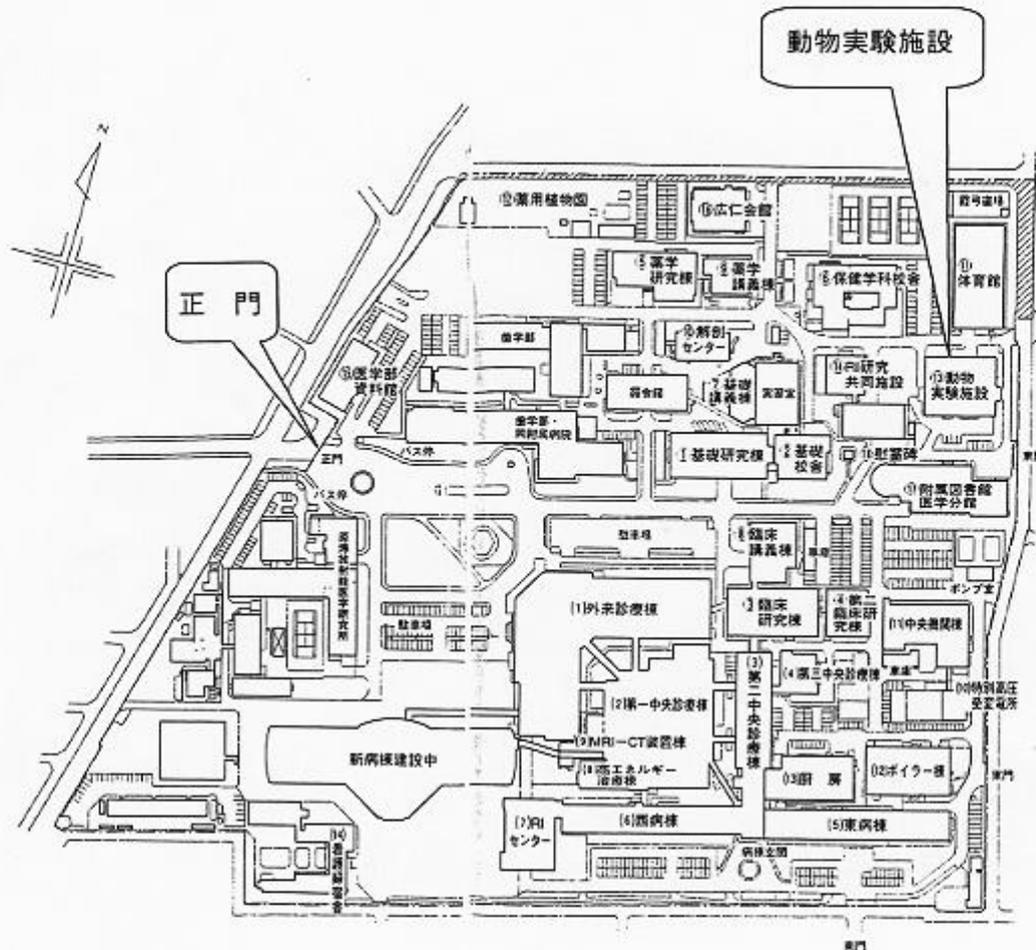
(ダイヤルイン)

[発信枚数;A4版 2枚(本票含む)]

別図

原田学長の実験公開会場のご案内

会場： 医学部附属動物実験施設
(広島市南区霞1丁目2番3号)



(広島大学 霞キャンパス 建物配置図)